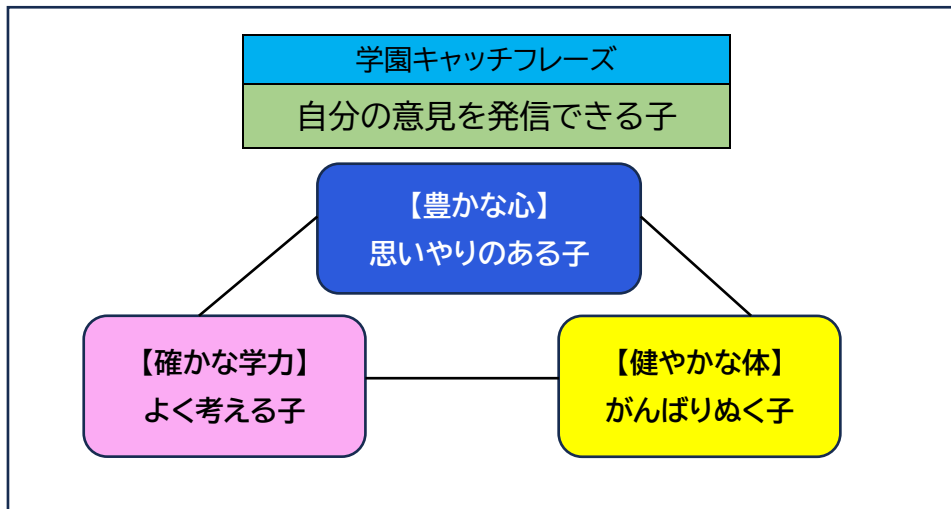


令和 8 年度 学園経営方針

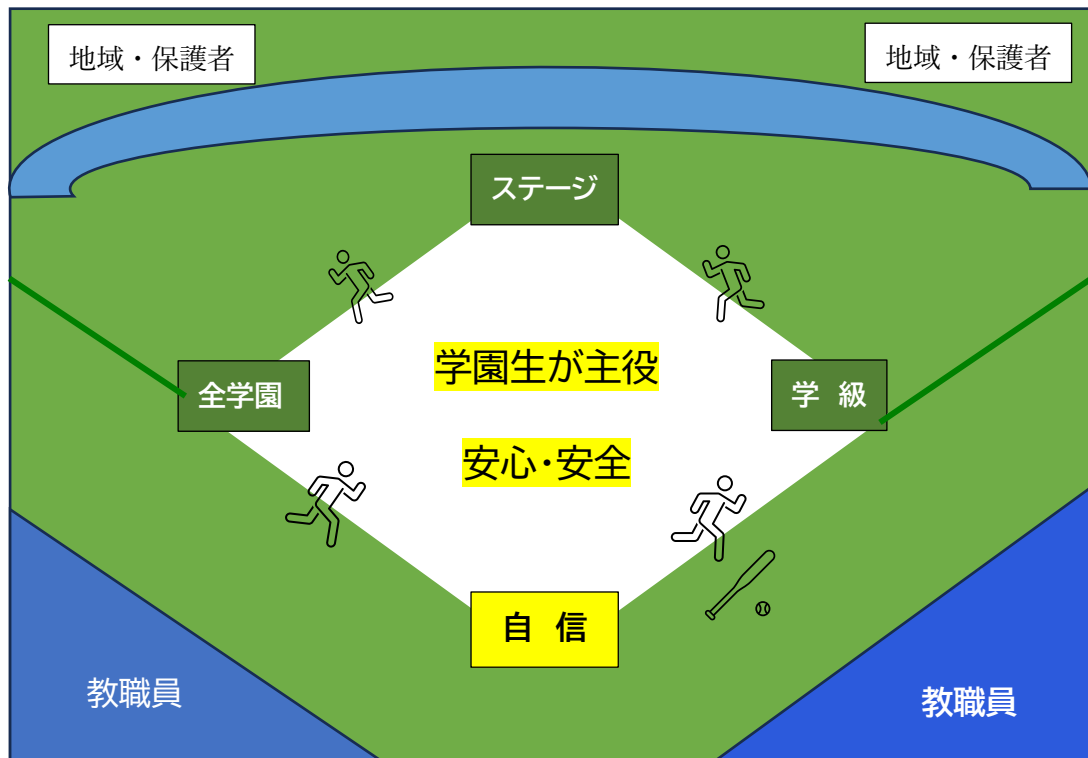
I 学園教育目標

確かな知恵と知的探究心を基盤として、自ら学び主体的に考える力と
たくましく生きる力を身につけた子どもを育成する。
『 自律 ・ 見識 ・ 貢献 』

II 学園キャッチフレーズ 《めざす学園生像 自分の意見を発信できる子》



III 学園ベース《めざす学園像 学園生が主役・安心、安全で自信が生まれる学園》



IV 学園経営方針

- (1) 学園教育目標の実現に向けて、鳥屋の特色を生かした活力ある教育活動を推進する。
- (2) 家庭・地域、教職員が学園生の学びを共に創り上げる社会に開かれた学園をめざす。
- (3) 教職員一人ひとりが教育改革を意識した教育の改善に取り組み、積極的な学園経営への参加を通して、活力ある学園をめざす。(「カリキュラム・マネジメント」の確立)
- (4) 教育活動の「振り返り(PDCA)」から教科指導の向上、行事等の改善を図り、新たな課題の解決と教育実践に取り組む。
- (5) **小規模校の長所を生かし学園生一人ひとりに丁寧な指導を行うとともに、学園生の主体性を引き出し、自己肯定感、自己有用感、自尊感情を得る場面と機会を設ける。**
- (6) 働き方改革にともない組織や行事の精選と効率化を図り、安心して学園生が学習し、教職員が勤務できるよう学園改善に努める。

V 今年度の重点

(1) **ステージ事のねらいにあわせた“学び”の醸成 ……見識を高める**

○義務教育9年間の系統性・連続性を重視し、**横(学級・ステージ)の発達段階に応じた質の良い活動を通して(強化)、非認知能力の育み学園(社会)の中で生き抜く“自信”を持たせる。**

	連続性	学びのねらい	生活・総合的な学習のねらい
第1ステージ(1年生～4年生)	メンバーシップ	学びの基礎の定着	身近な地域を知る
第2ステージ(5年生～7年生)	フォロアーシップ	学びの充実	地域との協働
第3ステージ(8年生～9年生)	リーダーシップ	学びの深化	地域との協働・情報発信・貢献活動

資料参照①

(2) **学びを“自分事”としたキャリア教育の実践 ……自律の確立**

- 学園独自のキャリア・パスポートを活用しながら、学園での学習と自己の将来との方向性を関連付けて学ぶことに見通しを持ち、粘り強く取り組む、たくましさの育成。
- キャリア・パスポートや評価結果等に基づき、一人ひとりの学園生の状況を多面的に捉え(包括的学園生指導)、理解 全学園生の個別支援に生かす。
- 卒業時には、**義務教育9年間の学びの成果や自己の成長などを振り返り、自己の将来像などを発信し、社会で自己実現する人材の育成を図る。**
- 「めざす学園生像」を具現化するため、家庭・地域と共有し、「未来を切り拓く力」を育てるために、地域における協働活動や体験活動の実施。

(3) **行事や交流を通してつなぐ力の育成 ……社会貢献の醸成**

- 学園生活の充実と向上をめざす縦割り活動、わかばっ子班等の活動を通して、人間関係形成・社会形成力の育成。
- “学園生が主役”となる輝鳥祭や学校行事を通して、集団に参画する力や課題に対しての話し合いを通じた合意形成のもと、集団として課題に乗り越える力の育成をはかる。(リーダー学年の質の向上のための横の団結)**